

Coinhive事件 概要

ウェブサイトにマイニングスクリプトであるCoinhiveを設置し、ウェブサイトの閲覧者に無断でマイニングを行わせた事件である。



•この事件の問題点

- 正当な理由がないのに、人が電子計算機を使用するに際してその意図に沿うべき動作をさせず（反意図性）、又はその意図に反する動作をさせるべき不正な指令を与える電磁的記録（不正性）を保管し、不正指令電磁的記録保管罪に当たるとされた。



•教訓、残された課題について

日本の技術者が様々なプログラムを公開するのをためらうなどの萎縮効果生まれ、ひいては日本の技術の進歩にまで影響が出かねない。

